

80歳以上の早期非小細胞肺癌に対する体幹部定位放射線治療を

受けられた方へのお知らせ

～拒否機会の保障（オプトアウト）の開示について～

近年、肺癌は男性および女性ともに増加傾向にあります。切除可能な状況であれば外科的治療がもっとも根治性の高い治療と考えられていますが、早期肺癌でも手術が困難な場合や患者本人が手術を拒否されるような場合には、放射線治療が有効な手段として認識されています。今回、80歳以上の非小細胞肺癌に対する体幹部定位放射線治療と外科手術の比較実現可能性の評価のために多施設で共同した後方視的観察研究を予定しています。

この研究の目的は、80歳以上の非小細胞肺癌患者さんにおける体幹部定位放射線治療の安全性と有効性を評価することです。この研究に使用するデータは、個人情報を匿名化した後に使用するため、個人情報が外部に漏れることはありませんが、この研究に「自分のデータを使ってほしくない」と思われる場合には申し出が可能です。また、「研究」や「オプトアウト」に関し質問がある場合は本研究担当者までご連絡ください。

【研究課題名】

JROSG23-4 80歳以上の非小細胞肺癌患者に対する体幹部定位放射線治療と外科手術の比較実現可能性評価：多施設共同後方視的観察研究

【研究の目的】

80歳以上の非小細胞肺癌患者さんにおける体幹部定位放射線治療の安全性と有効性を評価すること

【研究の対象】

2015年1月～2019年12月に80歳以上の方で非小細胞肺癌（臨床病期1期）に対して体幹部定位放射線治療を受けられた方

【研究に使用する情報】

性別、年齢、体重、身長

治療した時点での併存疾患や既往症

肺癌の詳細（腫瘍サイズや部位など）

肺癌治療の情報とその後の経過

【研究成果の公表】

学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表

【共同研究機関】

別途記載

【個人情報の取扱い】

対象の治療を受けられた方の臨床データおよび各種検査結果等は匿名化し、個人を特定する情報（お名前、ID、住所等）を含まず、個人が特定できないような形で使用します。

【お問い合わせ等の連絡先】

福井県立病院倫理委員会事務局

担当医師：福井県立病院陽子線がん治療センター 医長 建部 仁志

（電話番号） 0776-54-5151 （内線：2043、2047）